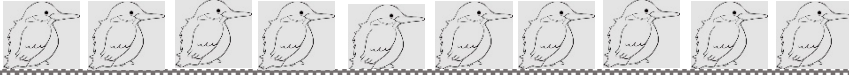




令和4年(2022)1月22日 第48号

# 高槻・五領の環境と 子どもの未来を守る会 News



記事紹介 ☆ 「ひちりき」のリード、ヨシ全滅の危機

☆ 4月10日「つる草抜き」と東儀秀樹氏ミニコンサート☆五領写真情報 撮影：大倉清教

## 「ひちりきのリード」に使用されているヨシ全滅の危機 雅楽 関係者が立ち上がる！！

右の写真は、1月6日の読売新聞の夕刊を転載しています。ここでは、宮内庁で使われている「ひちりき」のリードの材料の「ヨシ」が全滅の危機にあることを伝えています。このヨシは、一般的に他地域の水辺に生育する水域のヨシに対し、陸域のヨシとされており、茎が太く丈夫なのが特徴です。宮中祭祀で使用される「ひちりき」のリードは、ここ、鶴殿のヨシのみが使用されています。全滅すれば「ひちりき」の演奏が出来なくなるそうです。

このヨシの全滅の危機に際し、昨年より全国の雅楽関係者の皆さんが、「雅楽協議会」を中心にして立ち上がりました。そして、雅楽協議会の中に「ヨシ対策室」を新設されました。

そして、調査の結果、「ヨシ」が悪化していった直接的な原因の一つは、「ヨシ」がつる草(カナムグラ)などによって押し倒され、枯れていき、この現象がヨシ原全体に広がっている為であることが分かってきました。筆楽用ヨシの再生のためにはこれを防ぐことが肝要で、当面は「ヨシ原焼き」と「つる草抜き」の二つの対策が重要と考えられています。①

「ヨシ原焼き」は、この2年間コロナの影響で実施されていません。今年はなんとか実施という事で、予定日2月13日、雨での予備日、2月20日、27日プラス3月13日が追加です。

「つる草抜き」は手作業で実施、つる草は抜いても抜いても生えてくるようで4、5、6月の新芽の生える時期にかなりの作業が必要です。この作業にはボランティアが募集されています。4月10日を第1日として、4~6月の日曜日及び平日に予定されています。日程他詳細は別途配布のチラシでお知らせしますが、下記の雅楽協議会ホームページを参照ください。初日には、「東儀秀樹」氏のミニコンサートも準備されています。

私たちも、ボランティアに参加しましょう！！

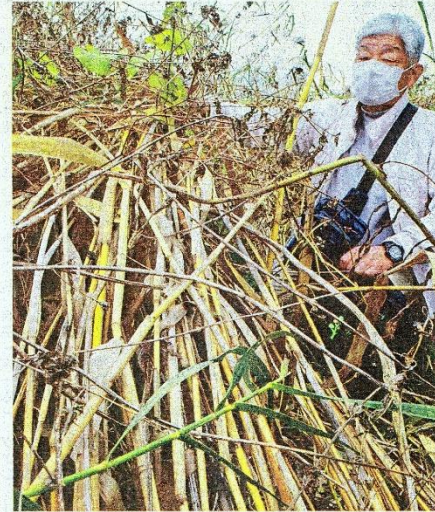
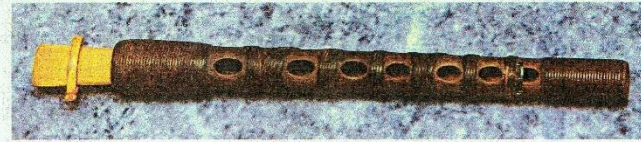
雅楽協議会ホームページ：<http://gagaku-kyougikai.com/>

引用資料 ①雅楽だより 第68号 1ページより

## 管楽器「筆楽」に利用

# 雅楽に響く

# ヨシ不足 産地 コロナで野焼き中止



雅楽器「筆楽」のリード(吹き口)の材料として珍重されている大阪府高槻市の名産「鶴殿のヨシ」の出荷数が、今年にはほぼ見込めない状況になっている。新芽の成長を促す早春恒例の野焼き「ヨシ原焼き」が、コロナ禍のため2年連続で中止になったことが原因で、宮中祭祀への影響も懸念されている。(真崎隆文)

鶴殿のヨシは、同市鶴殿、上牧両地区の淀川河川敷に広がるヨシ原(長さ約1・5キロ、幅約300メートル)に群生する。他地域のヨシに比べ、弾力性に富むのが特徴で、茎が竹製管楽器である筆楽のリードに利用されてきた。江戸時代の雅楽書楽家録には「古来、鶴殿の地に青いヨシを用いる」とあり、宮中祭祀で奏でる筆楽にも使われている。

①ヨシで作った筆楽のリード(左側) ②つる草が絡まって倒れてしまった「鶴殿のヨシ」(大阪府高槻市で)

例年、夏以降は高さ約4メートルに成長したヨシが林立する様子が見られるが、昨年はほとんどつる草が絡まり、倒れていた。ヨシを探取している上牧実行組合の組合長、木村和男さん(70)は「こんなにかげらぬようなヨシ原は見たことがなく、緊急事態だ」と語る。ヨシ原焼きは毎年2月、新芽の生育を妨げる雑

草を駆除し、灰を栄養とする目的で実施。だが住民や警察、消防署の関係者ら計約100人が参加する上、見学者も多数集まるため、2020、21年はコロナ禍で「密」を避けるために中止した。その影響でつる草がはびこり、ヨシが倒れる被害が広がった。21年は、何となく取種できたものの、22年はほとんど採れない見通しという。

雅楽では筆楽が主旋律を担う。音色を左右するリードは1〜3か月で交換が必要だ。宮内庁は今も鶴殿のヨシしか使っておらず、同

あり、宮中祭祀で奏でる筆楽にも使われている。水辺に自生するヨシは、各地で採れたれに用いられてきた。近年は生活様式の変化などで需要が低迷し、放置されている地域も少なくないが、鶴殿のヨシはリードの素材として定着しており、多くの雅楽師が愛用する。住民らが毎年1月頃に約1万本を刈り取り、宮中祭祀に携わる宮内庁薬部に約500本を納めており、リードを作る工房にも流通している。

つる草絡まる  
ヨシ原焼きは毎年2月、新芽の生育を妨げる雑草を駆除し、灰を栄養とする目的で実施。だが住民や警察、消防署の関係者ら計約100人が参加する上、見学者も多数集まるため、2020、21年はコロナ禍で「密」を避けるために中止した。その影響でつる草がはびこり、ヨシが倒れる被害が広がった。21年は、何となく取種できたものの、22年はほとんど採れない見通しという。

主旋律担う  
雅楽では筆楽が主旋律を担う。音色を左右するリードは1〜3か月で交換が必要だ。宮内庁は今も鶴殿のヨシしか使っておらず、同



2021年9月 ヨシが全滅した上牧・鶴殿ヨシ原 写真 木村和男

産地の山田彦彦さん(43)は「他産地品は息の振動が二歩も三歩も及ばない。鶴殿のヨシがなければ宮中祭祀にも影響が出る」と危惧。雅楽師で筆楽奏者の東儀秀樹さん(62)も「雅楽文化にとって危機的だ」と訴える。

リードを約50年作ってきた職人の奥田貞次さん(90)(三重県桑名市)は「鶴殿のヨシは丈夫で音程が取りやすく、代えがきかない。ストックはあるが、手に入らなければ廃業するしかない」とため息を漏らす。組合などは今年2月中旬にヨシ原焼きを行う方針で、市は見学を控えるよう呼びかける。住民らは今春、ボランティアを募ってつる草抜きも計画しており、木村さんは「鶴殿のヨシを守るため、多くの人に協力を呼びかけた」と語る。



# 4月10日(日)ヨシ原でつる草抜きの後

(午後1時頃より本澄寺にて)

## 私(東儀秀樹)のミニコンサートへのお誘い

雅楽だより68号より抜粋

ご承知のように鶺鴒のヨシ原の現状が大きな問題になっていきました。密集を避けるためにヨシ原焼きを行えないう、コロナ禍の影響がきこんとするところにも出てくるのは驚きでした。

そして2022年にヨシ原焼きが再開されることとなったのはホッとしています。しかしながらヨシ原焼きの復活だけではまだまだヨシの再生は見込めず、同時にヨシを押し倒し枯らしていく「つる草」の処理をしなければならぬということなのです。

とりあえず4月10日につる草抜きを実行する予定となりました。地域の人ばかりでなく雅楽の存続を心配してくださる有志の方々が多方面から参加してくれる見込みです。その日は私も参加し、そして参加して下さったみなさまの労のねぎらいにでもなればと、感謝の気持ちを込めてミニコンサートを開催する予定です。

とはいっても特別スタッフもいるわけではなくボランティアで手伝ってくれるかただけで行う内容なので、それでもそういうことからでも誰かしの興味をそそるきっかけになればいいと思います。みなさまも是非このことを拡散して関心を持ってくれる人を増やしていきたいと思っています。

以上 雅楽だより68号より抜粋



草を抜く足元にヨシの新芽・4月12日

40年前のつる草抜きの様子  
『自然観察会ニュース 鶺鴒のヨシ原 特集号1』  
発行 高槻公害問題研究会より



### 「つる草抜き」初日 東儀秀樹ミニコンサート

4月10日(日)午後1時於 本澄寺  
無料 雨天でも行います ヨシ原近くのお寺

午前中は「つる草抜き」

## 五領・鶺鴒写真情報

2022年1月2日他

撮影：大倉清教氏

大倉氏は淀川河川敷の鳥を中心に五領地区の自然を撮影しておられます。氏のホームページには毎日のように写真が掲載されます。

以下の写真は、氏のFacebookより転載させて頂いております。

ホームページ：<https://www.facebook.com/Kiyonori.Ookura>



モズ



ベニマシコ



コガモ



カンムリカイツブリ

「つる草抜き」へ 寄付のお願い  
筆管用ヨシの再生に向けて

左記へ寄付の振込をお願いいたします。

●郵便振込用紙に「ヨシへ寄付」と記入頂  
き郵便局より

「口座番号」00140-5-614032  
「加入者名」雅楽協議会

又は

●三井住友銀行 田無支店

普通4012320

雅楽協議会 鈴木治夫

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表：上田 博夫

住所：〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号：090-2283-1619 (村井)

ホームページ：<https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdofree.com/>

編集部：コロナの影響がヨシ原にも出てきました。ヨシの発育を阻害するつる草の繁茂は、ここ2年間のヨシ原焼きの休止や、最近のヨシ原焼きの方法にも一因があるようです。守る会の前身の協議会では、人為的な公害からヨシを守るため、多くの雅楽関係者にご協力を頂きました。元来葭原の衰退は淀川の改修に深く拘わっており、人為的な原因が積み重なっているようです。何とか回復させたいと思います。・・ボランティアに参加しましょう。

次回「守る会」定例会は、2月26日、第4土曜日

15:00~17:00、上牧公民館(上牧町本澄寺前)で開催します。

連絡は、事務局村井 ([masa569@tcn.zaq.ne.jp](mailto:masa569@tcn.zaq.ne.jp)) 迄